

令和2年度

# 竹田城跡遺構現状確認調査現地説明会資料

## ～大手道枡形虎口周辺通路・南千畳虎口～

2021.2.14

朝来市教育委員会文化財課

### 1. はじめに

朝来市では、平成 29 年 3 月に策定した『史跡竹田城跡整備基本計画』に基づき、平成 30 年度から本格的な竹田城跡の整備事業に取り組んでいます。

計画 3 年目の今年は、三の丸通路、大手道上半部の整備と大手虎口周辺通路、南千畳虎口の遺構確認調査を進めています。この確認調査は史跡内の適切な保存と活用を図るため実施するもので、現状遺構の評価と新規遺構の確認を目的として実施しました。

### 2. 竹田城跡の位置

竹田城跡は、兵庫県のほぼ中央部の但馬地域南端に位置する朝来市に所在しており、円山川左岸の古城山山頂一帯に築かれています。但馬・丹波・播磨の国境から程近く、城跡からは山陰道等の主要街道を見下ろすことができることに加え、山麓の城下町が街道を取り込む形で形成されているなど、交通の要衝を抑えることを意図した立地となっています。

### 3. 竹田城跡の沿革

竹田城は、山名持豊（宗全）の配下であった太田垣氏の城として築かれ、7 代にわたって城主を務めたとされていますが、永禄 12 年（1569）以降、天正 8 年（1580）までの 3 度にわたり織田方の攻勢を受け、太田垣氏の支配は終焉を迎えました。

その後、天正 10 年（1582）に桑山重晴、天正 13 年（1585）に赤松広秀が竹田城の城主として入城し、石垣の城郭を築造しました。最後の城主となった赤松広秀は慶長 5 年（1600）までの 15 年間にわたり城主を務めましたが、慶長 5 年（1600）の関ヶ原の戦いでは西軍に属し敗者となり、さらに鳥取攻めにおける城下焼き打ちの罪により自刃したことにより、竹田城は廃城となりました。

竹田城については元和元年（1615）より生野奉行（享保元（1716）年以降は生野代官）の管理下に置かれました。しかし、大規模な破却は免れたようで、城跡の一部石垣は現在まで残されています。昭和 18 年（1943）に国史跡に指定され、平成 21 年（2009）の追加指定を経て、現在に至っています。



調査位置図



①下層石積み



北千畳



推定ライン



②下層石積みに伴う裏込め石



③鬼瓦



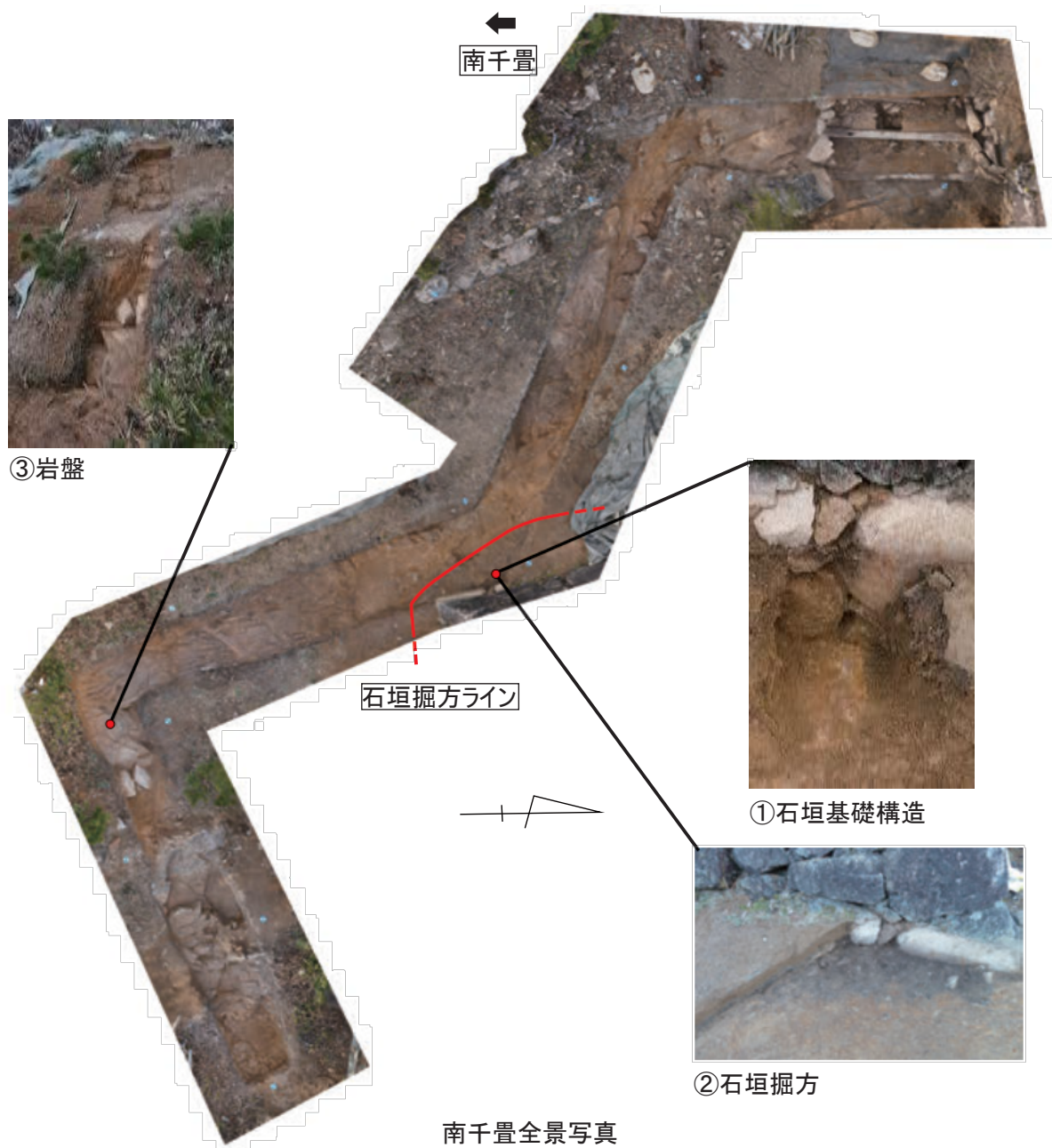
④埋没石段(写真1)

#### 4. 大手道枡形虎口周辺通路の調査結果

調査の結果、現況の石段は瓦片が混じっている土の上に据え付けていることが確認できました。またトレンチ北東隅からは埋没していた石段を確認しました。縦40cm・横40cm・高さ20cmの正方形に整形されています。(写真1) 検出場所、出土状況からみて現況の石段の一部とみられます。

##### 【下層石積み】

今回の調査で新たにトレンチ南東隅より現況石段の下から石積みとそれに伴う裏込め石が見つかりました。見つかった石積みは根石から2段目まで残存しており、隅角部と思われるところには平らな石を重ねて積んでいる「重ね積み」の技法が使われています。また、北東方向に約2.5m存在していることを確認しました。最終期に築造された現在確認できる石垣とは大きさや積み方など様相は異なります。時期を特定できるような遺物は出土しておりません。



## 5. 南千畳虎口の調査結果

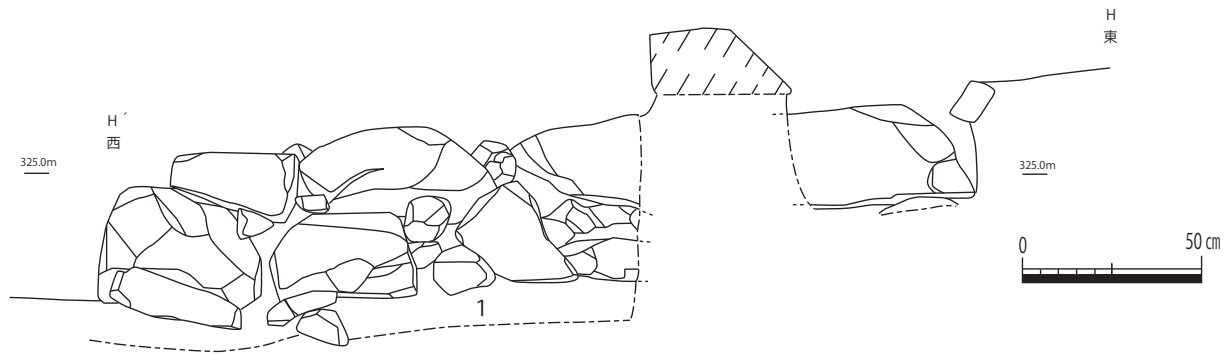
調査の結果、調査区全体に花崗岩の岩盤が広がっていることを確認しました。石垣構築痕跡や櫓台関連遺構などは確認することができませんでした。北東面にある岩盤露頭を削りL字型に整形していることからみても石垣構築の途中段階でいわば未完成の状態であるものと考えられます。

### 【石垣掘方】

トレンチ北隅で石垣構築時と思われる石垣掘方を確認しました。掘方ラインは現況石垣より約1m離れたところに平行するように位置し、北、東方向と両側に伸びていることを確認しました。

### 【石垣基礎構造】

岩盤上に石垣の基底部になる根石を配していることを確認しました。



調査区 4・5 境断面 3層 = 110YR5/6 黄褐色土

下層石積み立面図

## 6. 出土遺物

遺物は、大手道枡形虎口周辺通路では主に平瓦・丸瓦が出土しました。その他は半分残存している状態の鬼瓦などが出土しています。軒平瓦は中心飾りを中心に左右に唐草文を配していわゆる均整唐草文が出土しています。南千畳虎口ではほとんど出土せず三つ巴紋の軒丸瓦 1 点、平瓦数点のみの出土でした。また近世陶磁器が数点出土しています。

## 7. まとめ

以上のように今回の調査では、新たに下層石積みを検出することができました。時代や性格については今後さらに検討の余地がありますが大変貴重な発見となりました。

今後はさらに検討を重ね、この情報は今後の遺構保護工事や見学通路整備を行うための重要な基礎情報であり、来年度以降の整備をより良いものにするために活用していく予定です。



竹田城跡整備イメージ

朝来市教育委員会文化財課

〒 669-5153 兵庫県朝来市山東町大月 91-2 TEL : 079-670-7330 FAX : 079-670-7333